

| 会議録  |   |
|--|---|
| 会議の名称  | 第1回清須市総合計画審議会   |
| 開催日時   | 平成23年12月19日(月)午後1時30分   |
| 開催場所   | 市役所本庁舎 3階 大会議室  |
| 議題   | 1 開会<br>2 市長あいさつ<br>3 委員紹介<br>4 審議会会長選出<br>5 諮問<br>6 議事<br>(1) 策定に向けた取組みと今後の流れについて<br>(2) 基本構想、基本計画の見直しのポイント(案)について<br>7 閉会   |
| 会議資料   | 会議次第<br>配席図<br>委員名簿<br>諮問文<br>資料1 清須市総合計画審議会設置条例・附属機関の会議公開制度<br>資料2 第1次総合計画基本構想・基本計画見直しの流れ<br>資料3 基本構想、基本計画見直しに向けたご意見<br>資料4 基本構想、基本計画見直しのポイント(案)について<br>参考資料 清須市第1次総合計画に対するご意見 |
| 公開・非公開の別<br>(非公開の場合はその理由)  | 公開  |
| 傍聴人の数<br>(公開した場合)  | 0人  |
| 出席委員   | 福田委員、浅井委員、青山委員、後藤委員、小川委員、齋藤委員、太田委員、山内委員、渡辺委員、箕浦委員、牧野委員、駒津委員、伊藤委員、櫻井委員、増田委員、隅田委員、中田委員  |
| 欠席委員   | 大竹委員  |
| 出席者(市)   | 加藤市長、永田副市長、柴田企画部長   |
| 事務局  | (企画政策課)<br>飯田課長、山口副主幹、鹿島係長、服部主査、岩田主事  |
| 会議録署名委員  | 福田委員、浅井委員   |
| 1 開会<br><br>2 市長あいさつ<br>加藤市長<br>清須市長の加藤でございます。皆様方には、それぞれ大変お忙しい中で |   |

ございますが、本日は第1回総合計画審議会を開催させて頂きましたところ、ご出席を賜りご苦労様でございます。

皆様には、今回、審議会委員への就任をお願いしましたところ、快くお引き受け頂きまして誠にありがとうございます。

さて、平成19年に策定いたしました第1次総合計画に基づき、「水と歴史に織りなされた安心・快適な環境都市」の実現に向けて5年間の行政運営に取り組んでまいりました。

今年度は10年間の計画期間の中間年度にあたる年でありまして、計画の見直し、そして、後半5年間のまちづくりに向けて皆様方に調査審議をお願いするものでございます。

見直しに向けて、意識していることは大きく3点でございます。

まず、1点目は、一体感の醸成です。来年は、清須市が誕生して7周年を迎えます。2度の合併を経験した清須市にとって欠かせないのは、市民の皆さんの一体感であり、同じ市民として心を一つにさせていただくことが何よりも必要であると考えております。市では、様々な公共的団体の皆様のご協力を得ながら、清須越四百年事業を始めとして、一体感が高まる事業に取り組んでまいりました。旧町の壁を取り払い、交流していただくことによって、絆が芽生えてきたと感じております。今後は、この芽を育て、花が咲くように取り組んでまいりたいと考えております。

次に、2点目は、まちづくりの成果であります。合併7周年を迎える来年は、市民の皆さんが待ち望まれた図書館がオープンします。図書館は美術館と隣接し、公園を取り囲む形で配置されます。まさに、清須市の文化の森と言える施設です。そして、清須市の中央部を縦断する地域内幹線道路の整備も進んでいます。来年の夏には、アルコ清洲と長者橋の間が開通し、ますます交通の利便性が向上します。更には、公共下水道の供用開始も間近となり、安全・安心、そして、快適なまちづくりが着々と進んでいます。

こうした成果を踏まえ、住んでみたい、住んでよかったと言われるまちづくりに取り組んでまいります。

最後、3点目は、社会経済情勢の変化への対応でございます。ご案内のとおり、本年3月には痛ましい東日本大震災が発生しました。震災により、地震、そして、災害に対する不安の声が高まっています。当地域におきましても、東海地震を始めとする3連動地震の懸念が増しており、更には水害に対する備えも欠かせません。しかしながら、災害に対して、国、県、市だけの力では太刀打ちできません。地域での共助、自ら身を守る自助も必要です。皆さんとともに、安全で安心なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

そして、超円高、株安という経済状況の中、今後、日本経済は大きな成長が見込めないものと言われております。更には、少子高齢化の進展に伴い、社会保障関連経費も大幅に増加するという傾向にあります。こうした社会経済情勢の変化も見据えていく必要があります。

今申し上げました3つの視点も是非、念頭に置き、ご審議賜りたいと思っております。そして、これから委員の皆様のご活発なご議論によりまして、今後5年間の市政運営に向けた総合計画の見直し案を得てまいりたいと考えておりますので、ご指導賜りますようお願いいたします。

以上、開催にあたりまして、私からのお礼とご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 3 委員紹介

委員名簿に基づき各委員を紹介

資料1に基づき附属機関の公開制度について説明

### 4 審議会会長選出

名古屋経済大学経済学部・牧野教授を会長に選出

牧野会長

名古屋経済大学の牧野です。ただいま総合計画審議会の会長を仰せつかりました。これからの清須市の重要な基礎をつくる重要な計画づくりに参画することになるわけですが、大役であり重責に身が震える思いがします。

ご紹介にあったとおり、私は生まれてからずっと春日町に居住しており、春日町が清須市に合併して平成21年以降、行政改革推進委員会や社会教育委員会等の場に出させていただき、意見を述べる機会はありましたが、審議会の会長としてのとりまわしには慣れていないため、不行き届きな点があるかと思いますが、皆様方のご協力を得まして、十分な審議を尽くして計画を作ってまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

平成23年度中の計画の見直しということで、限られた時間で、年末年始をはさんだ集中審議となりますが、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

### 5 諮問

清須市教育委員会委員長の福田委員を副会長に選任

会議録署名委員に福田委員と浅井委員を指名

### 6 議事

#### (1) 策定に向けた取組みと今後の流れについて

牧野会長

それでは、議事(1)の策定に向けた取組みと今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

資料2・3について事務局から説明

清須市の総合計画に基づく施策紹介映像を放映(約15分)

#### (2) 基本構想、基本計画の見直しのポイント(案)について

牧野会長

それでは議事(2)基本構想、基本計画の見直しのポイント(案)について、事務局から説明をお願いします。

資料4について事務局から説明

#### (質疑応答)

牧野会長

ありがとうございました。それでは資料説明についてご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。見直しの視点だとか、施策体系といったあたりがポイントになるかと思っております。

小川委員

単純な質問ですが、資料2ページの「まちづくりの進展」というところで、2行目に「まちづくりを加速する」とありますが、「今まで進めてきた計画で至らないところを特に急いで、という意味合いを持って。」という読み取り方をしましたが、どのような意図で書かれているのでしょうか。

事務局（飯田課長）

「どういう部分が加速なのか。」というご質問と受け止めさせていただきました。例えば、今進めている下水道の整備も5年10年で実現する事業ではないので、こういった部分について、より計画的に進めてなければいけません。そういった意図で、「加速」という表現を使っています。加えて、審議会委員インタビュー（資料3）で出ている公共施設の統廃合の推進も1,2年ですべてできるものではありません。市民の皆様の理解を得て、一部、社会福祉施設の統廃合、温水プールの廃止等をさせていただきましたが、そうした課題がまだ残っていると認識しておりますので、その部分を進めるという意味で、中長期的に取り組まないといけない課題を更に進めていきたいと思いますという表現で書かせて頂いています。

小川委員

ありがとうございました。そうしますと、今までやってきたことで、なおかつ、急いでやらねばならない事を、こういう場で指摘しながら議論できればと理解しました。

もう一つ、思いの部分で申し上げますと、清須市を通る人が非常に困っているのが、国道302号と名鉄との交差で大渋滞が毎朝起こしており、清須市のイメージにマイナスであると思っておりますが、こういう大きい事業についても、計画の中で具体的なものがどこかに入るのでしょうか。

事務局（飯田課長）

現在の計画にも、「名鉄高架化の推進」と記載されていますが、それも時間がかかる事業なので、そういったところを一步ずつ進めていきたいと思いますという意味で、「加速」という言葉を使わせて頂きながら、また、今ご指摘頂いた部分やもう少し今の取り組みを早くやらないといけないという部分がありましたら、会議を通じてご意見を頂きたいと思えます。

日頃のまちづくりへの思いでも構いませんので、この機会にご意見を頂戴できればと思います。

青山委員

福祉や災害など安全・安心に関して、行政がやるべき公助、住民が助け合いながらやっていく共助、自分自身がやらなければならない自助、こういったものが、自分を含めて市民の中で、どこまでを行政がやり、どこまでを自分たち、自分がやらなければならないか、そういった部分がよくわかっていない。どこかの場で議論していただいて、それを元に、市民の意識を高めていって頂きたいと感じます。

事務局（飯田課長）

今のご発言の趣旨は、自助も大切であるから、計画にはそういったものも織り込んでいってはどうか、というご提案と受け止めました。

齋藤委員

自助ということについて、先般、庄内川が氾濫するという事態で、市からは避難準備情報や勧告を出しましたが、その時に、日中という事もあっ

てか2～300人しか避難されなかった。いざという時に、市の人口の1割が避難したら6,000人の避難者が出るわけですが、果たして6,000人を受け入れる避難場所があるかどうか、消防団では問題となっています。行政としてはいかに考えますか。やはり、自分の命は自分で守ることが原則でしょうが、公助に頼っている間に合わない場合もあります。また、色々な災害を通じて、やはり隣同士が分かり合っている昔の隣組の精神がないと、助かる方も助からないと思います。そういった事も考えてまちづくりをしていきたいと考えています。

避難勧告が出た場合に、それを受け入れることができるでしょうか。伺います。

加藤市長

先般の台風15号で避難勧告を出して、市内の避難所22か所をすべて開いたわけです。700人強の方が避難されたということで、今その事について、各自治会へのアンケート等を防災担当で行っています。

一つは、時間的に昼間で、不在の方もいて情報が伝わらなかったという面がありました。

もう一つは、庄内川が切れた場合、新川が切れた場合等を示したハザードマップを各戸に配布していますが、それを見て、自分の家はまだ安全であると判断をされたのかもしれない。

そういうことで、私どもの思ったよりも避難所へ来られた方は少ないと感じたわけです。あるいは、避難所を知っていて、行きたかったけれども、一人では行けなかったという方もいるかもしれないです。

団長が指摘されたように、6,000人が避難したら、とても全てを收容する避難所はないと思います。これは水害の問題も同様で、果たして、現在の避難所が、地震や水害が起きた際に持ちこたえるだろうかということもあるわけで、今、着手中なのは、会社や住居など近隣ビルの高所について協定を結んでおき、いざという時には、そこへの避難するようにと取り組んでいるわけですが、最終的には、市民の皆さん個々の判断になるわけです。

一番大事なのは、行政だけで担う事はとてもできない、ですから、自治会、ブロック制の中で、今色々とお願ひし、自治防災組織の強化などに取り組んで頂いていますが、そうなった場合に、どこへ避難しようという事をやって頂くと、そういう取り組みを協働事業ということで、役割分担といえますか、ここまでは自分で、ここからは地域全体で、あとは行政という仕組みづくりをやっていかねばならないと思っております。

牧野会長

ほかに意見はございますか。

意見がないようでしたら、本日のまとめとしまして、資料4の基本構想、基本計画の見直しのポイント(案)ということで、基本構想、基本理念について、これまでのものを受け継いでいくことに、皆さんからは反対がなかったようですので、受け継いでいきます。

見直しの視点ですが、旧春日町との合併など3つのポイントと、市民の皆さんの声を反映していくという方針で、今後見直しを進めていくということです。

施策体系については、旧春日町との合併の際に策定した新市基本計画が

示された7つのまちづくりの体系に沿って、今後具体的な計画を検討します。

それでは、これで第1回総合計画審議会を終了いたします。皆様、本日はお疲れさまでした。

7 閉会

( 時に午後3時30分 閉会 )

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 問い合わせ先 | 企画部 企画政策課<br>052-400-2911 内線1221 |
|--------|----------------------------------|

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 牧 野 香 三

署名委員 福 田 一 子

署名委員 浅 井 尊 弘